



福島ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2530地区
2021-22年度

Rotary Club of Fukushima WEEKLY REPORT

第34回例会
2022年6月9日

vol. 34



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

【例会場】福島市上町4-30
クラークーリアンテ サンパレス
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011
<http://www.f-rotary.com>
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com

会長あいさつ



2021-22年度会長 坪井 大雄

本年度においても駐車場をご提供して下さった幡会員、明治病院様に対して心から感謝申し上げます。ご協力のおかげで例会等スムーズな運営にあたることができました。

本日のプログラムは、クラブを代表し本年度地区にてご活躍いただいたメンバーの皆様からの活動報告です。皆様の一年間の活動に感謝しながら拝聴したいと思います。例会での限られた時間ですので、詳細については会報にて報告していただきます。また、次週以降は、クラブの委員会報告を各委員長にお願いしております。

本日は「古稀の会」(仮称)の発会式があります。ベテラン会員の皆様よろしく願いたします。詳細は会報にて報告いたします。



福島ロータリークラブ Facebook ページ

<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>



幹事報告

2021-22年度副幹事 渡辺 泰子

- 本日例会終了後、右近がバナー年度運営委員会が開催されます。委員の皆様はよろしく願いたします。
- 本日、古稀の会が開催されます。午後4時に福島稲荷神社社殿前にご集合いただき祈禱式、午後5時よりサンパレスにて懇親会を予定しております。
- 東京交歓会参加者の皆様へ当日のしおりをお渡しさせていただきました。ご不明な点がございましたら事務局までお知らせください。尚、参加者は43名になりました。
- 6/10(金) 県北第一分区新旧合同会長幹事会がサンパレスにて開催されます。当クラブから坪井会長、相良会長エレクト、吉田次年度幹事が出席いたします。
- 6月ロータリーレートは1ドル127円となりますのでお知らせいたします。

例会プログラムのご案内

- 6月23日(木) 12:30 ~ 「クラークーリアンテサンパレス」
【通常例会：今年度最終例会】
クラブ委員会委員長 年間活動報告
青少年奉仕委員会・ロータリー財団委員会・米山記念奨学会委員会・親睦委員会・例会委員会・情報委員会
坪井大雄会長スピーチ

本日のプログラム

地区委員・年間活動報告

ロータリーソング「我らの生業」

ソングリーダー 丹治正博 会員



福島ユナイテッド基金 小銭ボックス贈呈

福島ユナイテッドFC 代表取締役社長
鈴木勇人 様



感謝状贈呈(駐車場ご提供御礼)

幡 研一 会員



退会あいさつ

NHK 福島放送局局長

半沢治久 会員



各委員会報告

■公共イメージ委員会

「友」6月号紹介

中川 宏生 委員長



■例会小委員会

ニコニコBOX 担当

鈴木朋恵 委員



地区委員・年間活動報告



阿久津 肇
パストガバナー

諮問委員会

私は今年度、四つの地区委員会に属しています。即ち諮問委員会、指名委員会、地区運営規定改訂委員会そして規則・手続委員会であります。

諮問委員会は、ロータリー章典第17条に準拠して設置され、当地区の会員であるパストガバナー全員で構成されています。名簿上は15名ですが現在高齢、病気その他で常時3名が欠席されていますので、12名が参加しています。いつの間にか私が最古参になりました。

役割はガバナーから諮問された地区の管理・運営上の事項についてその経験により意見を述べ、ガバナーに助言することです。しかし、「これによりガバナーの権限や責務が少しでも損なわれたり、妨げられたりすることがあってはならない」とされています。

今年度は、2021年7月3日第1回会合の後、2022年5月11日までに7回開催されましたが、国際協議会報告、地区大会、災害特別基金の支出、地区資金収支決算などについて協議されました。なお、詳細についてはガバナー月信に記載されています。

地区指名委員会は、ガバナーを除くパストガバナー全員で構成され、ガバナーノミニ、規定審議会代表議員、RI理事指名委員の選考に携わります。

2021年10月30日の指名委員会で2024-25年度ガバナーに郡山北RC早川敬介会員が指名されました。

地区運営規定は国際ロータリーの組織規定に定められた「地区の役割やガバナーの任務」を踏まえて、当2530地区の管理・運営が円滑に進められることを目的として制定されています。現行の運営規定は、2017年7月に私が委員長を務め改訂されたものですが、その後2回の規定審議会、6回の決議審議会が開催され、国際ロータリーの組織規定も大幅な変革がなされているのを鑑み、その整合性を保つため今年度、芳賀裕PGを委員長に9名の委員で6回開催され、年度末までに改訂を完了するために、この後、6月14日と6月19日の2回開催が予定されています。

「地区規則・手続委員会」は、ロータリー章典で推奨されている委員会で、国際ロータリーの組織規定に関係する指名ならびに選挙その他の事項に関してガバナーに助言、支援するために設置されています。当地区では2019年より設置され、郡山西RC高橋金一委員長の他4名の委員から成っていますが、私はその相談役を委嘱されています。

各クラブのロータリークラブ定款・細則を調査し、2022年5月21日郡山市で「地区規則・手続委員会ミナー」を開催し、その実情を報告しました。

同時に4月11日より4日間開催された規定審議会の審議結果について酒井善盛地区代表議員から報告がありました。

以上私が携わった四つの委員会の活動状況の概略をお知らせしました。



右近八郎
ガバナーノミニ

諮問委員会／戦略計画委員会／青少年奉仕委員会／青少年交換委員会

ガバナーノミニは諮問委員会(オブザーバー参加)、戦略計画委員会、危機管理委員会、地区運営規定改定特別委員会、青少年奉仕委員会などに所属していますが、ここではガバナーノミニとしての活動報告をさせていただきます。地区委員会報告は各々の地区委員の方々の報告に代えさせていただきたいと思えます。

2021年7月1日にガバナーノミニになりほぼ1年が経過し、来月の2022年7月1日にはガバナーエレクトになる予定です。ガバナーノミニになって、この1年間で土曜日、日曜日にそれぞれ20回前後の行事に参加させていただきました。

ここではまずピークル(乗り物、仕組み)とコンテンツ(乗客、内容)という観点で報告させていただきます。ガバナーになるための準備にはピークル、コンテンツ両面での準備が必要ですが、特にガバナーエレクト前半まで(2022年内)はピークルの整備に力を注ぐ期間であり、ガバナーエレクト後半、2023年1月の国際協議会以降は、コンテンツの充実に力を注ぐ期間となります。この1年はノミニ個人としてコンテンツ準備のための活動と、ガバナー年度に向けた福島ロータリークラブ内のピークル整備を進めました。本日の例会後には第2回目のガバナー年度運営委員会を開催することになっています。

エレクト年度およびガバナー年度に向けて、福島ロータリークラブの皆さんのご高配を改めてお願いして、簡単ですがガバナーノミニとしての年間活動報告をさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。



渡辺健寿 委員

危機管理委員会

まず、地区に危機管理委員会が設置されていることを知ってください。

国際ロータリーの危機管理は、青少年交換学生へのセクシュアルハラスメント事件が発端となり、地区に危機管理委員会が設置されることになりました。

危機管理委員会は当該年度の直前ガバナーを委員長とし、当該年度のガバナーエレクト、五大奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山記念奨学会委員長、公共イメージ・IT委員長、青少年交換委員長及びガバナーが委嘱する委員若干名(ロータリアン以外の有識者2名を含む)をもって組織されます。

国際ロータリーは、ロータリー青少年交換プログラム参加者とボランティアとの健康、安全、セキュリティーを確保するため、とくに一昨年からの新型コロナのパンデミックを考慮し、今年度、地区毎に地区危機管理計画を策定することとしました。第2530地区においても、石黒秀司委員長(直前ガバナー)のもと昨年10月16日オンライン委員会を開催し、地区危機管理計画を策定しました。

地区危機管理計画の目的として、第2530地区に於けるプログラムのボランティアと参加者が、危機が発生した

際に適切な行動をとることで、リスクを最小限に抑え、すべての人の安全を最大限確保できるよう、実践すべき重要な手順をまとめるものとされています。具体的には、事故、身体的健康に関わる緊急事態のそれぞれにレベル1からレベル3までの3段階につき危機的な状況とその対応手順が示されています。

クラブの取組としては、青少年交換学生のホストクラブとなった場合、クラブ危機管理対応チームを編成する必要があります。

推奨されるクラブ危機管理対応チームのメンバーはクラブ会長・幹事、クラブ青少年交換プログラム担当委員長、クラブカウンセラー、ホストファミリー、学生保護者とされています。

今後とも地区危機管理委員会の活動にご理解とご協力をいただくようお願いします。



相良元章 委員長

公共イメージ・IT委員会／危機管理委員会

1. 公共イメージIT委員会セミナーの開催

2021年8月オンラインにて第2660地区新倉雄二氏を迎え、ロータリーの認知度調査の結果などを紹介した基調講演を行った。

また、My ROTARYのブランドリソースセンターやラーニングセンターなどを紹介した。

2. ロータリー奉仕デー支援ツールの作成

特製のほりを作成し全クラブに配布、ロータリー奉仕デーの実施を支援した。また郡山駅前といわき平駅前で、END POLIO 募金を米山奨学生らと一緒にを行った。

福島RCではロータリー奉仕デーとして7月に「スポGOMI大会」を行った。

3. 地区アクション表彰の選定

クラブ会報コンテスト部門、公共イメージ向上活動部門、END POLIO 活動部門、My ROTARY 登録率上位クラブ部門の4部門を地区大会にて表彰した。

4. マスコミ懇談会

新型コロナ感染防止のため中止に。代わりにマスコミ各社のトップインタビュー冊子を制作し配布する。また同記事は、次年度のガバナー月信に掲載する予定。

5. 一般市民向けホームページとSNSページの開設

地区ホームページとは別に、一般市民向けの「ろーたりーってなんだろ？」というHPを制作しSNSなどで周知を図り、1年間のユニークユーザー数は2,000人を超えた。

6. 新聞、ラジオ広告

民報・民友紙に毎週「ろーたりーってなんだろ？」のキャッチコピーとQRコードを掲載した。またラジオ福島では、7月から12月までの半年間、土曜日12時の時報まえにラジオCMを放送した。

7. その他の活動

オンライン会議の開催支援やロータリークラブセントラル登録支援を行った。

県北第一分区分と協力し、7月に福島駅構内に多言語によるデジタルサイネージを設置。

5月に開催された県北第二分区分のIMでは基調講演を行った。

感想

公共イメージの向上とIT化の推進を2018-19年度から4年間にわたり取り組んできた。

目指したのは、目標と成果の数値化だった。(ex. 認知度アンケート、アナリティクス解析、MR登録率など) MR率 2018年8月48.2%→2020年6月57.26% 約9ポイント上昇。

次年度は認知度アンケートを3年ぶりに行う予定なので結果を楽しみにしている。



古俣 猛 委員

職業奉仕委員会

第1回職業奉仕セミナー

2021年9月11日(土) Zoom

- ①「職業奉仕の歴史」
- ②「バッジは見ている」
- ③「職業奉仕入門のQ&A」
- ④「中学生インターンシップ事業(職業体験)について」

第2回職業奉仕セミナー

2022年1月29日(土) Zoom

- ①「職業奉仕とは職業を通して自分を磨くことである」
- ②「ロータリー100年史を読んで」
- ③「決議23-34」について

しあわせの島(くに)ふくしま職業奉仕宣言

東日本大震災の苦しみと悲しみを乗り越えて
今、鎮魂の祈りから「奉仕の理念」に基づき
「感謝」と「思いやり」の心で職業を通して
世の中に貢献します

- 1、例会を通して自己を磨き、「奉仕のこころ」を高めます。
- 2、各々の職種において、職業倫理の向上と奉仕の普及に努めます。
- 3、自分の職業に誇りを持ち、積極的に価値ある行動をします。
- 4、「四つのテスト」を行動指針とし、自分自身を律します。



菅沼 裕 委員

ロータリー財団委員会 資金推進・ポリオ委員会

財団は、田久昌次郎委員長(いわき平中央RC) 林克重副委員長(福島南RC)を中心にRI会長テーマの「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を掲げて活動をしてまいりました。

財団は補助金委員会・資金推進・ポリオ委員会・財団資金管理委員会の3つの委員会で構成されています。財団は大きく分けると二つの柱があります。一つは補助金を集める活動、もう一つは補助金を使う活動です。集める活動としては、年次基金1人150ドル、ポリオプラス1人当たり30ドルです。また今年度から恒久基金の寄付を募るためベネファクタ1名を各クラブにお願いしてきました。ちなみに当クラブはすべての目標を大幅に達成しています。

もう一つは補助金を使う活動です。これは地区補助金とグローバル補助金活用の審査・指導などを行っています。補助金モデルの中で使う活動ですが、21年度より変更された点がいくつかあります。

- ①ポリオプラスの場合地区財団活動資金(DDF)と同額の上乗せが国際財団活動資金(WF)から同額の上乗せがありました。今年度から50%になっています。

- ②グローバル補助金の上乗せも100%から80%へなりました。
- ③未使用のDDFを繰り越してできるのは5年間のみとなっています。
- 地区が繰越先を国際財団活動資金(WF)に通知しない場合、地区財団活動資金(DDF)は自動的に国際財団活動資金(WF)に充てられる、つまり没収されてしまいます。
- ④年次基金の運営費の割合が変わり、今までは国際財団活動資金(WF)45%、地区財団活動資金(DDF)50%、運営費5%だったものが、WF47.5%、地区47.5%、運営費5%となりました。

国際財団活動資金(WF)からの上乗せ資金の減額や運営費の地区負担が増えています。

地区委員として活動させていただき感じたことは、福島ロータリークラブは歴史と伝統はもちろんですが、RIへの実績や地区への貢献度でもナンバー1であることを強く感じました。

今後も、歴史・伝統・実績・貢献度ナンバー1のクラブであり続けるよう微力を尽くしたいと思います。

感謝状贈呈(駐車場ご提供御礼)



■ 幡 研一 会員

退会あいさつ



■ NHK福島放送局局長
半沢治久 会員

福島ユナイテッド基金 小銭ボックス贈呈



■ 福島ユナイテッドFC
代表取締役社長
鈴木勇人 様

福島ユナイテッド基金小銭ボックス、みなさまのご協力のお陰をもちまして、100,000円を贈呈いたしました。

私のひと言

寿泉堂クリニック 名誉院長

白岩 康夫 会員



今この季節、渡利に住んでいるとホトトギスの声を聞くことができる。今年は5月末に「特許許可局」と鳴くそれを聞いて、青葉若葉の季節がやってきたなあ実感した。ところが最近になって聞けなくなってしまった。野鳥の会の皆さんは最近野鳥が減っていると言う。夏になって日本に渡ってくるコムドリも数をへらしているようだ。原因の一つとして越冬地での熱帯雨林の伐採が挙げられている。たしかにフィリピンやインドネシアでは熱帯雨林が70%以上消失したとされている。しかし地球温暖化も一因をなしていると考えられる。

日本野鳥の会は新たにSDGsの達成に貢献するよう取り組みをはじめた。野山の賑わいが戻ってくることを願っている。

ロータリーの友6月号

- **特集** 規定審議会から見てくるロータリーの方向性 P7～19 横書き

ロータリーの組織規定を改変する、3年に1度の規定審議会が、この4月に開催されました。ここでの採択は、私たちのロータリーの理念や目的、そしてクラブや地区の在り方にどのような影響を及ぼすのでしょうか。

ロータリーの過去、現在、未来を、規定審議会を通して見ていきます。



- **SPEECH** 科学の目で見た海のプラスチックごみ P4～P8 縦書き



ニコニコBOX報告 [報告] 鈴木朋恵 委員 本日の投入額35件

〈メッセージ会員〉

○小原 敏 会員

福島東稜高ダンス部部长 一条未悠がダンスの全国大会日本一となり、来たる7月ロサンゼルスで行われる世界大会に出場します。ご声援を。

○半沢 治久 会員

2年足らずでしたが、故郷、福島の温かい皆さまのおかげで充実した日々が過ごせました。来週には自宅のある広島に越しますが、これからも少しでも故郷に役立つことができればと思います。本当にありがとうございました。

○山内 修平 会員

年度途中で入会をさせていただきましたので、年間活動報告をお聞きし、勉強させていただきます。

○渡邊 又夫 会員

本日、古稀の会が開催されます。70才以上の会員は24名おり、クラブ会員数の約4分の1の大集団です。ご期待ください。

○坪井 大雄 会長

地区で活躍された皆様、一年間ありがとうございました

○他に 安藤健次郎/今井理基夫/植田リサ/大槻美恵子/岡田新也/加藤弘樹/加藤義朋/菅野裕一/五阿弥宏安/古俣 猛/坂本壮敏/相良元章/佐藤英典/佐藤充孝/白岩康夫/菅沼 裕/鈴木朋恵/鈴木勇人/田沼紀美子/丹治正博/寺田 充/中川宏生/箱岩 偉/幡 研一/畠山良平/村山成也/森岡幸江/八代大輔/藪 政勝/吉田大樹